

行政事業レビューシート (文部科学省)																														
予算事業名	アイヌ子弟高等学校等進学奨励費補助(大学)		事業開始年度	昭和51年度		作成責任者																								
担当部局庁	高等教育局		担当課室	学生・留学生課		学生・留学生課長 松尾泰樹																								
会計区分	一般会計		上位政策	「確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり」 「教育機会の確保のための支援づくり」																										
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-																										
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	北海道に居住するアイヌの子弟で、大学又は短期大学に進学する能力を持ち、将来、社会において有為な人材として活躍することが期待されながら、経済的理由によって進学後修学が困難な者に奨学金及び通学用品等助成金の貸与事業を行う北海道に対し、その経費の一部を補助することを通じ、北海道のアイヌの子弟の大学、短期大学への進学を奨励し、社会的・経済的自立を促進するもの。																													
事業概要 (5行程度以内。別添可)	北海道が行う大学及び短期大学への進学奨励のための奨学金及び通学用品等助成金の貸与事業に要する経費について、その1/2を補助。 ①経済的な理由により進学後、修学が困難な者に対して、奨学金を貸与する。 ②経済的な理由により進学後、修学が困難な者に対して、通学用品等助成金を貸与する。																													
実施状況	①奨学金：平成21年度179人(153百万円) ②通学用品等助成金：平成21年度51人(2百万円)																													
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求																								
	予算額(補正後)	79	80	89	83	72																								
	執行額	84 (※1)	76	78																										
	執行率	106.3%	95.0%	87.6%																										
	総事業費(執行ベース)	169	153	155																										
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業年度毎に北海道から提出される実績報告書等において、支出先・用途を把握し、事業の内容、目的との整合性、事業の実施状況について確認を行っている。																												
	見直しの余地	本補助事業により、アイヌの進学率は向上しており、事業の目的を果たしてきている。しかしながら、依然として相対的にかなり低い状況であることから、道との連携により事業を検証しつつ、引き続き本補助事業の実施及び充実に努める。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">北海道における大学・短大への進学率</th> </tr> <tr> <th></th> <th>昭和61年</th> <th>平成5年</th> <th>平成11年</th> <th>平成18年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般</td> <td>27.4%</td> <td>27.5%</td> <td>34.5%</td> <td>38.5%</td> </tr> <tr> <td>アイヌ</td> <td>8.1%</td> <td>11.8%</td> <td>16.1%</td> <td>17.4%</td> </tr> <tr> <td>格差</td> <td>-19.3%</td> <td>-15.7%</td> <td>-18.4%</td> <td>-21.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">出典：北海道「アイヌ生活実態調査」</p>					北海道における大学・短大への進学率						昭和61年	平成5年	平成11年	平成18年	一般	27.4%	27.5%	34.5%	38.5%	アイヌ	8.1%	11.8%	16.1%	17.4%	格差	-19.3%	-15.7%	-18.4%
北海道における大学・短大への進学率																														
	昭和61年	平成5年	平成11年	平成18年																										
一般	27.4%	27.5%	34.5%	38.5%																										
アイヌ	8.1%	11.8%	16.1%	17.4%																										
格差	-19.3%	-15.7%	-18.4%	-21.1%																										
予算・監視の効率化	1. 事業評価の観点：この事業は、北海道に居住するアイヌの子弟で、経済的理由によって進学後修学が困難な者に奨学金及び通学用品等助成金の貸与事業を行う北海道に対する補助事業であり、実施体制・手法の見直し及び予算と執行の乖離是正の観点から検証を行う。 2. 所見：アイヌ子弟の進学率が向上していることは評価できるが、相対的には未だ低い状況であることから、北海道との連携の強化など、引き続き制度の普及や需要の把握に努めるとともに、貸与人数の減少等により、決算上不用が生じていることを踏まえ、予算を縮減すべきである。																													
補記	(※1)支給人員が当初計画数を上回り(高校)分から流用したことにより、執行額が増額している。																													

文部科学省
78百万円

北海道が行う大学及び短期大学
への進学奨励のための奨学金及
び通学用品等助成金の貸与事
業に要する経費について、その
1/2を補助。

【補助】

(A)
北海道
78百万円

アイヌ子弟に対して奨学金及び
通学用品等助成金を貸与

【奨学金等貸与】

(B)
学生(延べ230人)
78百万円
※貸与総額155百万円

奨学金等を貸与

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.北海道			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	奨学金	77			
	通学用品等助成金	1			
計		78	計		
B.学生A			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
奨学金等	学資等	1			
計		1	計		
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10)

B: 奨学金等貸与

	支出先	支出額(百万円)
1	学生A	1
1	学生B	1
1	学生C	1
1	学生D	1
1	学生E	1
1	学生F	1
1	学生G	1
1	学生H	1
1	学生I	1
1	学生J	1
⋮	その他	145
合計		155